

第20回記念
鉄道貨物振興奨励賞
募集要綱

2019年4月

日本貨物鉄道株式会社

鉄道貨物振興奨励賞運営委員会

1. 目的

「鉄道貨物振興奨励賞」は、効率的で、かつ環境にやさしい輸送機関である貨物鉄道の発展と利用促進、さらには国際物流の活性化のため、一方で国が主導する「物流生産性革命」や構造的なトラックドライバー不足などの周囲を取り巻く環境の変化を敏感にとらえ、鉄道貨物輸送に関する先進的な利用実績や独創的な提案・研究などを顕彰することを目的としており、今年には20回目の記念すべき年です。

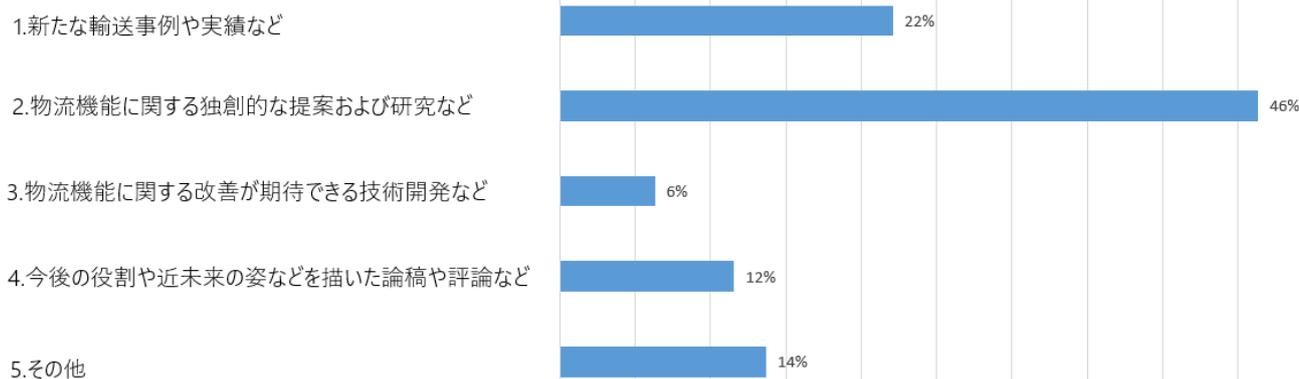
2. 応募資格

上記の内容に沿ったものであれば、個人・グループ・団体・企業を問わずどなたでも応募できます。社会人、大学生はもちろんのこと、小・中・高校生の皆さんの応募も歓迎します。

3. 応募テーマ

上記目的に沿った鉄道貨物輸送の有用性及び鉄道貨物輸送に対する独創的な提案、研究または鉄道貨物輸送に関する改善が期待できる技術開発などについて下記の参考にありますように、幅広い分野がテーマになります。

【参考1】過去の受賞論文（類型別）



【参考2】過去の最優秀賞受賞テーマ

受賞回	類型別	テーマ	著者
1	2	日本貨物鉄道株式会社への発展に向けた10の提案	日本石油輸送(株)原昌一郎様
2	2	製品輸送のモーダルシフトの実践 物流環境取り組み事例	シャープ(株) 伊藤幹雄様
3	1	地球環境に優しいグリーン物流の実践 鉄道貨物によるモーダルシフトの取り組み事例	東北リコー(株) 大友久芳様
4	1	ロジスティクス環境対応における鉄道利用について	キヤノン(株) 山口雅史様
6	1	国際海上コンテナの鉄道による往復輸送とインランド・ハブ & スポーク方式 海上コンテナの鉄道輸送における空コン輸送の効率化	JUKI(株) 荻原克郎様
7	1	十勝産馬鈴薯のクリーン物流モデル実現への道 安心・安全 さらに環境配慮した輸送体系確立に向けた取り組み	北海道士幌町農業協同組合 久保武美様
8	2	お客様と通運事業者と日本貨物鉄道株式会社への発展のための一考察 ノンレール代行便を加味した新たなコンテナネットワークの構築	日本通運(株) 高木貴志様
15	1	専用コンテナによるキュービクルの鉄道輸送の実現	日東工業(株) 水野正博様
16	1	ネスレ日本におけるモーダルシフトの拡大事例と将来への展望	ネスレ日本(株) 尾川太志様
19	1	総合物流企業グループへの発展を目指した「総合物流提案」活動について 当社 国際事業部の取り組みと課題	日本フレートライナー(株) 大嶽王子様

4. 応募要領

- (1) 応募論文は、上記の目的に沿ったもので、「日本語」で書かれた未発表論文とします。
- (2) 応募論文は、A4用紙（40字×36行）で5枚以上15枚以内（図表及び写真を除く）とします。また、応募論文とは別に、A4用紙1枚に本文の要約を1,000字以内でまとめ、必ず添付するようにしてください。
（注1）15枚を超える論文は、審査対象としません。また、応募論文は返却しません。
- (3) 応募論文とその要約の他に、次の事項をA4用紙1枚に明記した書面（応募票資料1-2参照）を添付して下さい。（応募票は、当社のホームページからもダウンロードできます。）
 - ①住所、②氏名、③年齢、④連絡先電話番号（日中ご連絡が可能な電話番号）
 - ⑤勤務先又は学校名、⑥本賞を知ったきっかけ（例：雑誌名、当社ホームページなど）
 - ⑦他薦による場合であれば推薦者名（注）ご提出をいただきました個人情報に関しましては、賞の選考目的以外には使用しません。

5. 応募締切日 2019年8月30日（金）必着

6. 入賞論文の発表並びに表彰式

『鉄道貨物振興奨励賞運営委員会』において厳正な審査を行い、入賞論文を選考いたします。各応募者には、10月中旬を目途に事務局より、審査結果のご通知を申し上げます。

表彰式については11月上旬に開催を予定しております。詳細につきましては、事務局より各受賞者に、ご連絡をさせていただきます。

7. 表彰および賞金

- | | |
|-----------------|------|
| (1) 最優秀賞（1件） | 50万円 |
| (2) 優秀賞（1件） | 30万円 |
| (3) 奨励賞（1件） | 20万円 |
| (4) 20周年特別賞（1件） | 10万円 |

※ JR貨物グループ社員からの応募作品については、上記の対象とせず、特に優秀な論文については、「JR貨物社長賞」を贈呈します。

8. 「第12回住田物流奨励賞」への選考対象

応募いただきました論文は、本賞のほか、交通の各分野において広く物流振興のために大きく貢献した著作、論文、研究などを顕彰する「第12回住田物流奨励賞」の選考対象とさせていただきます。

9. その他

応募論文について審査対象となった方全員に、20周年を記念する特別な記念品を贈らせていただきます。なお、表彰された論文は、弊社ホームページへの掲載と共に冊子にまとめ公表いたします。予めご了承ください。



《ご応募並びにお問い合わせ先》

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目 33 番 8 号 サウスゲート新宿 5F

日本貨物鉄道(株) 鉄道貨物振興奨励賞運営委員会事務局

電話:03-5367-7415 FAX : 03-5367-7390

E-mail : bosyu @jrffreight.co.jp URL : <http://www.jrffreight.co.jp/>

「鉄道貨物振興奨励賞」応募論文作成のための「リーフレット」

初めて応募論文を作成しようとする方は、以下を参考にして取りまとめをお願いします。

題名（タイトル）は、論文内容を具体的に表すものを付けて下さい。
～サブタイトル～を付けることもできます。

○序論（はじめに）の役割

- ① 導入の役割を果たす部分。
- ② 取り上げるテーマ（問題）は何かを具体的に示す。
- ③ 書き出しの部分で、これから述べる意見の発端、目的を示す【問題提起】。
- ④ テーマ取り上げの論拠として、背景となる先行研究があれば、それを紹介する。
- ⑤ 論じるのに必要な前提情報を、その分野に知識のない読み手にも分かるように説明する。
- ⑥ 読み手が全体を円滑に意欲的に読み続けることができるためのガイドとなる。

1. はじめに（A 4用紙（40字×36行）1枚程度）

論文のテーマについて選んだ理由、取り組みの背景をエッセンスとして短い文章で取りまとめ、読み手の興味を引くよう心がけて下さい。

例えば、環境対策、モーダルシフト、輸送の効率化、荷役の改善といった大きな視点に立ち、選んだ具体的テーマとの関連付けを行って下さい。

○本論の役割

- ① 結論を支える役割を示す部分。
- ② 序論から結論を導き出す。
- ③ 事実（調べたこと、データ、結果）を用いて論拠を示し、なぜそのような結論になるのかを理論的に説明する。【意見を記述】
- ④ 反論や批判も予測して、多角的に論拠・根拠を述べ、読み手の理解を深める。

2. 現状の分析（A 4用紙（40字×36行）5枚程度）

(1) 「はじめに」で掲げた問題意識をもとに、現行の輸送にかかわる数量、時間、行き先、各運輸機関の輸送サービス等、また、現在行っている業務について、時間、コスト、使用している輸送機器等、或いは、広く環境や物流（CO₂、燃料高騰、労働力不足、インフラ等）等について問題点の洗い出しを行い、問題意識を浮き彫りにするよう心がけて下さい。

(2) 論旨をわかりやすくするための概念図、図表、グラフ、写真等は、理解を深めるために有用ですので、必要に応じてご活用ください。

3. 展開（A 4用紙（40字×36行）5枚程度）

(1) 「現状の分析」で具体的に得られた結果（行き先、時間、数量、コスト、作業改善・CO₂削減効果等）をもとに、今後の取り組みについて仮説をたてる、或いは、他のモデルとの比較検討を行うなどにより新しい選択肢を見つけて下さい。

(2) それらの課題解決に向けた方向付けを行い、現状と対比しつつ、各種実証実験等を実施、或いは新しい輸送機器、装置、ソフトの投入、或いは改良等によって有効と確信できる対策を作りあげ、得られた結果によって、どのくらいの効果があるかを試算し、結論に結びつける。または、鉄道貨物振興に資する提言として数項目にまとめて下さい。

(3) 論旨をわかりやすくするための概念図、図表、グラフ、写真等は、理解を深めるために有用ですので、必要に応じてご活用ください。

○結論（むすび、まとめ）の役割

- ① まとめの役割を果たす部分。
- ② 全体の内容をざっと概観し確認する。
- ③ 意見を締めくくる。
- ④ 中心テーマ（意見、主題）をアピールする。
- ⑤ 序論で述べた目的に呼応するよう整合していかなければならない。
本論での成果に基づき、それを足がかりにとして、将来（次の段階）、何をしたらよいかを示す。

4. 結論（A4用紙（40字×36行）1～2枚程度）

結論は、序論の論文の作成目的と関係付けて結び、結論を分かりやすく、自分の意見を明確に入れて書いて下さい。

○最後に参考文献、資料、Webサイトのリストを載せる。

応募論文を記入する上での留意点

論文を書く場合、以下のことに注意して、読み手に読みやすいように、分かりやすく書いて下さい。

- ・ 誤字・脱字がないように気をつける。
- ・ 論理的にわかりやすく、読みやすく書く。
- ・ 表記や用語を統一する。
- ・ 文体は「である」調で書く。
- ・ 1文はあまり長くないようにする。
- ・ 説明には図表を有効に活用する。
- ・ 図番号は図の下、表番号は表の上を書く。出所があれば『（出所）国土交通省「・・・統計」と書く。
- ・ 事実（実際に得られている結果など）と意見（事実に基づいた見解や推測など）を区別する。
- ・ 自分の意見か、他の文献、参考サイトにある見解からの引用かが、読み手に読み取れるように書く。（例）「○○で述べられているように・・・」「・・・（参照）」
- ・ 参考文献がある場合は、著者名、書名、出版年数、出版社を最後に記述する。

第 20 回記念 鉄道貨物振興奨励賞応募票

2019 年 月 日

日本貨物鉄道株式会社 御中

下記の論文について、第 20 回記念 鉄道貨物振興奨励賞に応募します。

論 文 名	
① 住 所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	〒
② 氏 名 (フリガナ)	
③ 年 齢	歳
④ 連絡先 <input type="checkbox"/> 携帯 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	電話 (日中ご連絡が可能なもの): E-mail :
⑤ 勤務先(又は学 校名)	
⑥ 本賞をお知りにな ったきっかけ	(例: 雑誌名、当社ホームページなど)
⑦ 推薦者名 (他薦 による場合)	【会社名又は学校名】 【お名前 (フリガナ)】

【その他】 応募論文は、郵送による受付といたします。また、応募いただきました論文は返却いたしません。

(備考) ご提出をいただきました個人情報に関しましては、本振興奨励賞における目的以外で使用することはありません。